

平成25年度 第6回 経営協議会議事要録

日 時：平成26年2月14日（金）15時00分から16時10分

場 所：如水会館 富士の間

出席者：【委員】 山内学長

天野委員、北尾委員、中島委員、新井委員、木川委員、安田委員

大芝委員、落合委員、小川委員、菅野委員、林委員

【陪席者】 渡邊監事、二村監事、高橋副学長

議事に先立ち、学長より前回（平成25年度第5回）の議事要録について確認を行った。

審議事項1. 国立大学法人一橋大学契約職員就業規則等の一部改正について

人事課長より、国立大学法人一橋大学契約職員就業規則等の一部改正について、資料2に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

審議事項2. 平成25年度大学運営経費予算の補正等について

財務部長より、平成25年度大学運営経費予算の補正等について、資料3に基づき説明が行われた後、引き続き、落合理事・副学長より夏季海外語学留学制度のための調査派遣事業について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、審議の過程において、以下の質疑応答があった。

- 268名の応募者から乱数表を用いて100名の学生を選出したとの説明があったが、前向きに協力する学生で、かつ学力の高い学生を選ぶということは考慮しなかったのか。
- 説明会において、モニタリング調査であることから意識の高い学生のみ応募するよう事前に伝えており、また今回の目的が学生全体の意識の底上げを目指すことにあるため、一部の優秀な学生のみでなく、全体を代表するような学生を選考した。
- 現在の人員体制で、こうした大きなプロジェクトを運営していくことは可能なのか。
- 昨年6月から、旅行業務取扱管理者資格を有する者1名を雇用したほか、本年1月から2名のスタッフを追加雇用したところであるが、今後派遣学生数が増加した際には、学外のリソースを活用することも考えている。
- 派遣学生数が1,000人規模となっても学生寮やホームステイ先などを確保できる見込みはあるのか。
- 欧米の大学に学事暦を合わせるなど夏季休暇の時期を早めることで、6月末からと7月末からの2グループを派遣することが可能になると考えており、今後の学事暦改革と深く関わることになる。
- 6億円規模のプロジェクトとなるため、大学負担以外に個人負担をお願いすることも視野に入れており、仮に経済的に厳しい学生にはローンや奨学金制度を活用していただく等、色々な組み合わせを考えつつ、モニタリングを通じて本学に適した体制を構築したいと考えている。

- AERA ムック本の活用方法について説明願いたい。
- 広報活動に活用することに加えて、一橋大学基金に高額の募金をしていただいた方等に配布することを考えている。また、入学志願者の拡大という観点から、関西及び中部アカデミア開催時の進学相談コーナーにおいても配布する等、戦略的に活用したいと考えている。この他にも、オープンキャンパスの実施時など受験生向けの情報発信に活用したいと考えている。

審議事項 3. 平成 24 事業年度における剰余金の取扱いについて

小川理事・副学長より、平成 24 事業年度における剰余金の取扱いについて、資料 4 に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり実施することが承認された。

報告事項 1. 平成 25 年度文部科学省予算における公募型事業の申請・採択状況について

財務課長より、平成 25 年度文部科学省予算における公募型事業の申請・採択状況について、資料 5 に基づき報告があった。